

池田下す 澁谷勝ち越し打

最終日は5日、帯広の森野球場で代表決定戦を行った。Bブロックは江陵が最終回、2人しかいない3年生の一人、澁谷拓巳主将が勝ち越し2点打を放って池田を5-3

で振り切り、10年ぶり4度目の代表を決めた。Cブロックは帯緑陽が、エース長江理貴（2年）の9奪三振無失点の力投と3本の長打を含む10安打で音更に八回コールドの7-0で快勝、3年ぶり2度目の代表となった。北海道大会は18日から旭川スタルヒン球場で開かれる。組み合わせ抽選会は10日。

（岡部彰広、北雅貴、金野和彦、塩原真）

3年生実った苦勞

勝利を決めて堂々と整列する選手を見て、谷本献悟監督、西田つばさ部長が手で顔を覆い男泣きした。谷本監督は「よくついてきてくれた。2人しかいない3年生がチームを引っ張ってくれた」と感謝した。

その1人、澁谷拓巳主将が3年生の意地を見せた。同点で迎えた最終回1死

二、三塁の好機で、内から入ってきた高めスライダーを強振、打球の頭上を越える2打になつた。二回の塁打に続くこの試合2本目の勝ち越し打は、勝利を決定付けた。

で躍進

3年春就任の谷本監督の「人間力」野球に触れ、気に北大会出場をつかみつけた。

相手の気持ちを考えすぎて、ツッポーズをしないなど、厳しい部則を通じて多くのことを学んだ。澁谷主将「監督は技術よりも一生懸命やること、野球より人間性の大事なことを教えた。それをしっかりと受け、成果をきょう出せたと胸を張った。

名将・星栄元監督（2011年1月死去）が率いて

江陵

【Bブロック代表決定戦・江陵―池田】北海道大会への進出が決まり、応援席へ勝利の報告に走る江陵ナイン

3年生は澁谷主将と佐藤龍馬の2人だけ。1年秋の部員10人という苦しい時期や、昨年の初戦コールド負けを経験したが、201

来の北大会出場。当時1年生レギュラーだった西田長は目を赤くしながら「いい報告ができる」とうなっていた。

江陵は3-3の同点で迎えた九回、1死二、三塁で、三番の澁谷が左越え2点適時一塁打を打ち、勝ち越した。澁谷は一回にも2死二、三塁から右中間へ2点適時二塁打を決めており、計4打点の活躍だった。1年生左腕の古谷は152球の熱投で、3失点完投勝利。ストリートとスライダーがさえて9三振を奪った。

池田は2点を追う五回、2死一、三塁で、松浦が左中間を破る二塁打で同点に。七、八回には二塁にランナーを進め、押し気味に試合を進めたが、得点には至らなかった。初回1死で救援した寺林は、テンポの良い投球で三回から6回をゼロで抑えたが、最終回に力尽きた。

「全力出せた」
惜敗にも笑み

池田

○：「自分まで回してくれ」。九回、2死一塁でネクストバッタースサークルに控えていた松浦想主将(3年)は祈っていた。目の前でゲームセットとなり「思いはかなわなかったが、全力を出し切れた。皆で楽しくプレーできた」と、

(5日)

◇Bブロック▽代表決定戦

江陵	1	2	0	0	0	0	0	0	2	5
池田	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3

江陵	打数	安打	三振	四振	打点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
② 山本	4	1	0	0	0	二飛	投ゴ	左安	投直	投野				
④ 佐藤龍	3	0	0	0	2	四球	四球	右飛	投ゴ	二ゴ				
⑨ 澁谷	5	3	4	2	0	石安	石2	三振	三振	左2				
③ 佐藤勇	4	0	0	0	1	四球	一邪	捕ゴ	投ゴ	中飛				
⑦ 阿部航	4	1	1	1	1	四球	右飛	中安	投ゴ	三振				
⑤ 阿部聡	4	1	0	2	0	三振	中直	三振	中2					
⑥ 国方	3	0	0	0	1	二ゴ	投ゴ	投ゴ	投ゴ	四球				
⑧ 伏見	4	1	0	0	0	石3	遊失	遊ゴ	遊ゴ	三ゴ				
① 古谷	4	1	0	0	0	二ゴ	投併	投ゴ	投ゴ	石安				
犠盗併残失	1	3	0	9	3									

池田	打数	安打	三振	四振	打点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
⑥ 望月	4	1	0	0	1	左直	三失	遊安	死球	遊ゴ				
④ 内海	3	1	0	1	2	投安	四球	投邪	四球	三振				
② 松浦	4	1	2	0	0	遊飛	二飛	左2	右飛					
③ 1寺林	4	3	1	0	0	石安	石2	投ゴ	中安					
⑤ 渡辺	4	1	0	2	0	三振	中安	三振	捕ゴ					
⑧ 田中	3	0	0	2	0	三振	三振	三ゴ	投犠					
⑦ 飯田	3	0	0	2	1	四球	三振	三振	一ゴ					
① 箭内	0	0	0	0	0									
3 中山	2	0	0	1	0	右飛		振逃						
R3 野尻	2	1	0	1	0				三振	中安				
⑨ 山本	2	0	0	0	0	二ゴ	投犠	二ゴ						
H 山岡	1	0	0	0	0									
犠盗併残失	2	3	1	8	1									

古谷	938	1528	940	0
箭内	1/5	271	1031	0
寺林	8/36	1247	524	24

▽三塁打=伏見(江)▽二塁打=澁谷2、阿部聡(江)寺林、松浦(池)▽盗塁=佐藤龍2、澁谷(江)内海、寺林、渡辺(池)▽盗塁死=飯田、望月、内海(池)▽野選=古谷(江)▽捕逸=山本(江)▽審判=原林(帯三条)坂田(帯三条)小林央(帯柏葉)丹羽(幕別)▽試合開始=午前11時19分▽試合時間=2時間20分



【Bブロック代表決定戦・江陵一池田】5回2死一、三塁から池田の松浦想が右中間へ適時二塁打を打ち累上でガッツポーズ、3-3の同点とする

を仕留め、「これまでで上位に入るピッチング」と胸を張った。九回に2失点を喫したが、最後は5番打者をスライダーで空振り三振に切って取った。

12年ぶりの北大会出場は惜しくも逃したが、川村直己監督は「最後まで諦めず集中してプレーしていた」と選手たちをねぎらっていた。

よくやってくれた

寺林諒(同)も速球とスライダーを効果的に使い、試合を引き締めた。六回は4球、七回は7球で江陵打線



つてくれた。北大会では一生懸命やるだけだ。

すぐくっつけたい

同・澁谷拓巳主将(3年)の話 ガッツポーズはしないが、すごくうれしい。北大会へ勢いがつく勝利。甲子園を



園を自指して頑張りたい。